

## <(17516)“古賀之士(Kogayukihito)”の星が誕生>

札幌市厚別区 渡辺 和郎 (54)

国際天文学連合(IAU : International Astronomical Union : 本部パリ)、小惑星センター(米 : ケンブリッジ市)発行の2009年10月4日発行の「小惑星回報」(Minor Planet Circular)によって、「古賀之士」という小惑星が誕生しました。

### (17516) Kogayukihito

**(17516) Kogayukihito = 1992 UZ6**

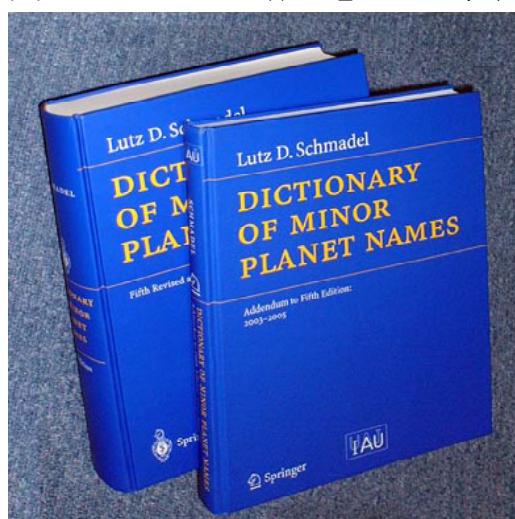
**Discovered 1992 Oct. 28 by M. Yanai and K. Watanabe at Kitami.**

**Yukihito Koga (b. 1959), the executive announcer at the broadcasting station in Fukuoka, is also very well known as an amateur astronomer and as an astronomical anchorperson in Kyushu. His main interests are comets, meteors, solar eclipses and deep-space observations.**

**M.P.C. 67 217 2009 OCT. 4**

[ 小惑星回報 ] (2009年10月4日発行)で公表された“古賀之士”的命名文

私たちの住む“地球”は〔惑星〕という天体の一つですが、現在、地球を含め8つの大きな惑星が太陽の周りを回っています。近年、その中の火星と木星の間(空隙)に“小さな”惑星が多数発見され、〔小惑星〕と呼ばれています。惑星は、もともと塵のような存在から小石、小石から岩、岩塊から大きな天体・惑星へと、衝突・合体を繰り返しながら成長したと考えられています。何らかの原因で成長しきれなかった集団、つまり、未だ太陽系形成時の原始の姿をとどめているのが小惑星だと考えられています。最近、その一部に地球軌道と接近遭遇するものが発見され、もし、地球と衝突すれば人類滅亡の危険をはらむほどの破壊力をもっているため、世界各国が協調して危険な小惑星の搜索を行っています。



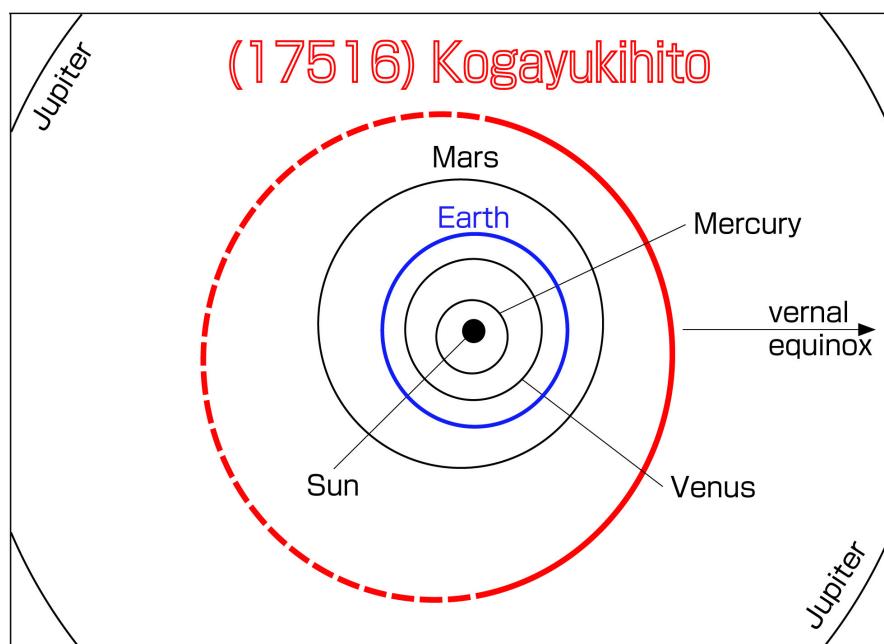
小惑星命名辞典第5版(左)と増補版

世界各国の天文学者が集まる国際天文学連合は、天文学に関わるあらゆる決議を行っています。最近の話題として、冥王星を太陽系の惑星から降格し、その数を八つにすることを採択しました。太陽系の小天体名は、同連合第 20 委員会傘下の「太陽系小天体命名委員会」の審査を経て公表されます。この名前は、夜空に輝く七夕で有名なこと座の 1 等星“ベガ”や、さそり座の“アンタレス”などと同じく、世界共通の星の“学術名”となります。

小惑星の名前は 3 年に一度 (IAU 総会開催年) 更新される『小惑星名辞典 (Dictionary of Minor Planet Names : 現在第 5 版・増補版)』に収録されます。名前は人類(文明)が存在する限り未来永劫残されてゆきます。

現在、軌道が求められ、番号が登録されている小惑星は 20 万個以上。当初はギリシャ神話やローマの古典に登場する女神の名前を付ける決まりでしたが、300 個を超えるあたりから女神の名前が足りなくなってしまいました。そこで、星の名前では唯一、発見した者に自由な名前を命名委員会に提案する権利を認めています。天文学者や科学者、そのゆかりの地名が大多数を占めていますが、会社名やペット、キャラクターや政治家の名前は基本的に禁止及び制限しています。

小惑星“古賀之士”は、1992 年 10 月 28 日に札幌市在住の渡辺和郎(わたなべ・かずお)と箭内政之(やない・まさゆき)によって共同で発見されました。発見後の長期に及ぶ追跡観測によって軌道が正確に決まり、2000 年 10 月 13 日に 17516 番目に登録されました。軌道の確定は、人でいえば戸籍ができたような状態になり、いつでも計算でその正確な位置を知ることができます



小惑星“(17516) 古賀之士”は、やはり潰れた橢円軌道で太陽の周囲をおよそ 4.04 年かけ一周しています。その大きさは直径約 12km ぐらいと推定され、最近発見される数百 m クラスの小惑星と比較し

大きな部類に入ります。

## 古賀 之士



出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

古賀 ゆきひと（こが・ゆきひと、本名:古賀 之士、1959年4月9日生まれ）は、福岡放送(FBS)のチーフアナウンサー。福岡県久留米市出身。血液型 A型。福岡県立明善高等学校、明治大学政治経済学部卒業後、1984年入社。

本名が非常に読み難いため、情報バラエティ一番組の時は、柔らかいイメージを出すように名前を平仮名の「ゆきひと」を使うが、報道番組やスポーツ中継の際は漢字の「之士」を使う（読みは同じ）。

大学在学時、アナウンサーに憧れダメモトで日本テレビに電話をかけ、大学の先輩である福留功男と話をすると「一回局にお茶でも飲みにおいでよ」と気さくに声をかけられたことが大きなきっかけとなった。「ズームイン!!朝!」で福岡担当キャスターを勤め全国的に有名になる。その後、福岡ローカルの「ナイトシャッフル」の司会を務めた後、現在は「めんたいワイド」の司会として、RKB毎日放送の「今日感テレビ」と夕方の顔を争っている。1999年に福岡ダイエーホークスが初優勝した際には、福岡ドームにて号泣しながら他のファンと抱き合って喜んだ。また2008年、王貞治監督が辞任する際には、冬休み返上で番組に出演、同じく号泣しながら王監督へ感謝を述べ、ホークスのその年の福岡ドーム最終戦を観戦した。

趣味は鉄道模型。また、ボードゲーム「モノポリー」の爱好者であり、ホークスの助っ人外国人選手に声を掛けてプレイすることもあるとか。モノポリー日本選手権大会九州予選で1995年・96年の2年連続優勝。近視のため、長年に渡って眼鏡を着用して番組に出演していたが、2009年1月にレーシック手術を受け視力が回復し、現在は眼鏡を着用していない。手術を受ける様子は、「めんたいワイド」内で放送された。

2009年10月14日

